

シンポジウム等の概要について(事後報告)

- 1 名称 : 2017年九州北部豪雨災害と今後の対策
- 2 日本学術会議の主催者 : 土木工学・建築学委員会
防災減災・災害復興に関する学術連携委員会
- 3 その他の主催団体等 :
・主催 : 防災学術連携体
- 4 開催日時 : 平成29年12月20日(水) 10時00分～17時30分
- 5 開催場所 : 日本学術会議講堂
- 6 開催趣旨 :
2017年九州北部豪雨災害に対しては、多くの学会により現地調査を含む種々の学術的検討・活動が行なわれてきた。本シンポジウムでは、この災害を対象として、防災学術連携体の参加学会の発表を主とした情報交換を行い、防災・減災・災害復興に関係する情報共有と今後の学会連携に資する機会とする。具体的には、総括的な基調講演の後で、気象・地形などの状況、災害発生メカニズム、避難・救援、復旧・復興などのテーマからなる5つのセッション別に各学会からそれぞれのテーマに関係した発表を行い、最後にパネルディスカッションを行ってこの災害から学ぶ教訓と今後の対策について議論しまとめた。
- 7 参加人数 :
合計:312名
講演者等 : 29名
一般参加者(含:学会関係者) : 249名
行政:22名
報道:12名
- 8 特記事項 :
行政、報道関係を含む多数の方々が出席し、熱のこもった発表と質疑応答が行われた。本災害から得られた教訓だけでなく、本シンポジウムを通じて得られた知見や本シンポジウムの意義についてもコーディネータなど登壇者によりまとめられ、今後の学会連携による防災活動に向けた貴重な機会となった。